

## 委員会設置提案書

提案者（理事名）橋本 篤

委員会の名称	暗い自然環境を保護するための照明指針作成に向けた研究調査委員会
英文表記	Research Committee on Developing Lighting Guidelines for Protecting Natural Darkness
事業部門	照明に関する研究・調査事業
関連常置委員会名	分科会運営委員会
設置の趣旨	<p>近年、障害光による環境や生態系への影響に関する研究が進む中、光害への意識の高まり・規制強化という世界的な流れがある。国内の自治体においても、光害防止のための条例や規則の制定、光害対策型照明の採用による光環境の再構築といった事例が出始めている。2024年度に活動した「国内外の光害規制研究調査委員会」では、こうした国内外の規制の現状および課題の取り纏めを行った。</p> <p>同委員会の後継となる本委員会では、自然環境保護・星空保護を重視する地域において、配慮すべき事項、必要な明るさと環境保護のバランスの考え方、照度・色温度等の制限値、配光制御や点灯制御の手法等を示した指針案と課題を取り纏める。</p>
予測される成果	作成される指針案は、自然環境保護・星空保護を推進する自治体等が適切な照明を設置・運用するための基盤となる。また、より一般的に屋外照明における環境配慮の考え方を示すものとなる。
成果のフォローアップ (会員への還元)	委員会活動終了後に報告書（「暗い自然環境を保護するための照明指針案」を含む）を作成する。また、公開研究会を開催し、委員会活動により得られた成果を報告する。
委員会の構成 (氏名：所属)	委員長（予定者）越智信彰（東洋大学） 幹事（予定者）望月悦子（千葉工業大学）、伊東勇人（ネクスコ東日本エンジニアリング） 委員（予定者）唐澤宜典（パナソニック）、山田哲司（岩崎電気）、鄭新源（滋賀県立大学） 計10～12名程度
設置期間	2025年4月～2027年3月
委員会開回数／年	4～5回程度
活動計画	1. 障害光による環境への影響の文献調査・整理 2. 暗い自然環境を保護するための照明手法の多角的検討 3. 報告書の作成、公開研究会の開催
経費 委員等の旅費の支給対象の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（理由：対面会議の委員旅費） 支給対象者名 鄭委員、委員A 支給予算額 50,000円 <input type="checkbox"/> 無
備考	

理事会の承認	承認 年 月 日
--------	----------